

令和 7 年度相模原市総合防災訓練 (兼) 第 46 回九都県市合同防災訓練を実施しました

大規模地震災害発生時における迅速かつ円滑な災害応急対策等を図るため、消防、警察、自衛隊、在日米陸軍、外国人留学生など、86 機関・団体が参加し総合的な防災訓練を実施しました。

1 実施日時

令和 7 年 8 月 31 日 (日) 午前 8 時 30 分から午前 10 時まで

※防災フェア (展示・体験) は、午前 8 時 30 分から午前 11 時 30 分まで

2 実施場所

相模総合補給廠一部返還地 (相模原市中央区)

3 実施規模

参加機関・団体 86 機関・団体

参加者 約 2,000 人

4 訓練想定

令和 7 年 8 月 31 日 (日) 午前 8 時 30 分、相模原市直下を震源とするマグニチュード 7 クラスの地震が発生。市内最大震度 6 強を観測、がけ崩れ、建物倒壊、火災等が発生し、死傷者も出ている。また、鉄道、道路、電気、ガス、水道、通信等の各施設にも被害が発生している。

5 主な訓練内容等

- ・さがみはら 1 分間行動訓練 (その場で姿勢を低くし、頭部を手や荷物で保護します。)
※大規模地震発生時の最初の 1 分間に、落ち着いて適切な行動をとるための訓練です。
- ・市民訓練 (初期消火訓練、救出訓練、応急救護訓練等)
- ・緊急交通路確保・道路啓開訓練 (事故車両、がれき等の除去)
- ・救出救助・消火訓練 (消防隊等による救出救助)
- ・救護所運営訓練 (傷病者のトリアージ及び応急手当)
- ・ライフライン復旧訓練 (電力・通信・ガス・水道復旧及び応急仮設住宅建設)
- ・防災フェア (啓発物品展示・配布及び体験コーナー)

6 本村市長講評（要旨）

本日は、市民の皆様、医療機関、ライフライン関係機関、自衛隊、在日米陸軍消防隊など多くの関係機関の皆様に訓練へ御参加いただき感謝申し上げます。災害はいつ起こるか分からず、過去の台風被害や各地の地震・豪雨災害の教訓を踏まえ、「自助」「共助」「公助」を一層強化することが重要です。

また、本市には現在2万人余りの外国人がお住まいであり、増加傾向であることを踏まえ、今回は、外国人留学生の皆様にも御参加いただき、救出や初期消火、多言語による避難誘導など新たな訓練を実施いたしました。今後も消防や地域、市議会、近隣自治体と連携し、72万人の市民誰一人取り残さない、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

7 訓練の様子



外国人留学生による救出訓練



中高層建物からの救出救助活動



救出救助・消火訓練（一斉放水）



閉会式（市長講評）

問合せ先

危機管理局 危機管理統括部

直通電話 042-707-7044